

平成25年第1回定例会(第2日目)2013.02.20

発言順: 1 西澤啓文(自由民主党・仙台)

質問	①事前・ 現場調査 (0~4点)	②他都市 との比較 (0~2点)	③改善案 (0~3点)	合計
1: 東日本大震災以後の取り組みについての市長の感想	0	0	0	0
2: 被災者の生活再建とふるさと仙台の再生についての市長の意気込みと本市の復興を自らの手で完成させようとする意思	0	0	0	0
3: 今後の財政の見通しについての当面の見解と収支不足への対応	0	0	0	0
4: 震災復興メモリアル検討事業の目的と今後の進行についての所見	0	0	0	0
5: 生活保護受給世帯の学習支援事業の目的と事業展開の方向性	0	0	0	0
6: 市民や事業者に三Eを浸透させていくための具体的な運動	0	0	0	0
7: 体験学習施設内に仙台のまちを再現するための協力企業としてどのような業種を想定しているのか。必要な企業の協力を得るためにどのように取り組んでいくのか。	0	0	0	0
8: バス路線の再編について ・その狙いと効果 ・学都仙台フリーパスの利用区域の拡大の必要性和利用できない区域が増加しないように再編すべき ・相互利用可能なIC乗車券導入を決断できない理由と他の事業者との交渉経過、検討の経緯。経費の点でも開業当初より導入すべき ・バス路線の再編の今後のスケジュール	1	0	1	2
9: 東西線沿線まちづくりの現状認識と東西線フル活用プランの今後の展開	0	0	0	0
10: 宮城野原の広域防災拠点について ・県からの財政負担等の要請 ・自転車競技場が無くなってしまふことについての利用者に対する説明	0	0	1	1
11: 本市経済の現状分析と地域経済活性化策の展開	0	0	0	0
12: 仙台港周辺への産業集積の促進 ・仙台港のハード面の復旧の現状 ・一部事務組合が管理運営を行う県の提案への対応 ・荷物の受け入れの余裕 ・土地利用ニーズ調査 ・土地区画整理区域内の市有地をコンテナヤード等に利用できる取り組み ・港湾の活性化を一元的かつ強力に取り組む組織の必要性	1	1	2	4

13：仙台・宮城デスティネーションキャンペーンについて ・重点取組事項 ・本番に向けての盛り上げの仕掛け ・現時点での取り組み ・他都市の先進事例等の研究 ・慶長遣欧使節や伊達文化に着目した取り組みの必要性 ・中長期的観光戦略の必要性	0	0	0	0
14：農と食のフロンティアプロジェクトの実現に向けての方向	0	0	0	0
15：県と同様の事業（事業復興型雇用創出事業）をスタートさせた経緯	0	0	0	0
16：国連防災会議の誘致の状況と勝算。準備態勢。使命感。コンベンションを受け入れるハードウェアの充足	0	0	0	0
	2	1	4	7

【コメント】

1・2⇒このような抽象的な質問に意味があるのかどうか検討する必要がある。
3⇒収支不足についての自らの見解（対策）を明らかにするべき。当局に語らせておしまいという質問の意義を検証する必要がある。
4⇒事前に担当者に方針と進捗状況を確認し、問題点を把握して質問するべき。
5⇒これも4同様。目的や方向性を事前に担当者に確認し、自らの改善案を提示しつつ質問するべき。
6⇒5と同様。
9⇒5と同様。
11⇒1，2と同様。
12⇒仙台港周辺への産業集積の課題をまとめ、自らの改善案も加えた優れた質問。

平成25年第1回定例会(第2日目)2013. 02. 20

発言順：2 渡辺公一（市民フォーラム仙台）

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
1：新たなふるさとづくりについて ・住み慣れたコミュニティーが分散されてしまう被災者の不安解消 ・高齢者のメンタルケア ・復興公営住宅の選に漏れた場合 ・グループでの入居を希望する場合の対応	0	0	0	0
2：沿岸部の道路のかさ上げの見直し。並木の創出と全国からの寄附	0	0	1	1
3：災害の際の避難所の設置と運営について ・（コミセンの）敷地内の空きスペースに防災倉庫を設置し、地域全体の備蓄分を確保する必要性 ・避難所を運営する人材と消防OBの活用 ・福祉避難所の改善	0	0	1	1
4：国連防災会議について（何を重点に発表し、訴えるつもりか、受け入れ体制）	0	0	0	0
5：東北の元気づくりについて ・本市の特徴がより印象に残るアイデア ・民間と一緒に海外に発信する方法 ・仙台駅に秋保と作並の温泉を使っの足湯	0	0	1	1
6：慶長遣欧使節400年のイベントについて（計画しているイベントの内容。アカプルコでの400年行事への協力）	0	0	0	0
7：情報サービス産業の呼び込み策	0	0	0	0
8：地下鉄沿線の活性化についての協議会の位置づけ。出された意見の反映。反映させる手法	0	0	0	0
9：青葉通りのケヤキ並木の再生方法	0	0	0	0
10：観光のシンボルとなる歴史的建造物の復元の具体化についての所見	0	0	0	0
11：新エネルギーを普及させる方法。E—A c t i o nを全市的に目指す場合の思い切った施策	0	0	1	1
12：子ども・子育て会議の連携先と施策の内容。地域との連携の構築	0	0	0	0
13：私立幼稚園の認定こども園への移行	0	0	0	0
14：小学校、中学校の学校評議員の意味と学校防犯ボランティアの活用	0	0	1	1

15：都市経営への取り組み ・行革の内容 ・高度な行政運営の意味 ・職員の能力アップの方法 ・大都市制度の見直しと財源の移譲についての意見調整と先頭に立つ意欲	0	0	0	0
16：改選への意欲	0	0	0	0
	0	0	5	5

【コメント】

- 1⇒課題をあげて当局の対策を尋ねるだけでなく「こうすべき」という自らの案を提示すべき。
- 2⇒「沿岸部の道路のかさ上げの見直し」は事前に担当者に確認し、問題点を指摘して質問すべき。
- 4⇒2同様担当者に準備の状況を確認し、その問題点を指摘しつつ質問すべき。
- 5⇒「本市の特徴がより印象に残るアイデア」「民間と一緒に海外に発信する方法」は議員側からの提示も必要。
- 6⇒2同様担当者に事前に確認して質問すべき。
- 7⇒市がその点で何をしているのかを調べ、どのような呼び込み策が効果的であるか調査研究し、改善案を提示して質問すべき。
- 9⇒2同様担当者に事前に確認して質問すべき。
- 10⇒質問が抽象的過ぎる。具体的な案を提示する必要がある。
- 12⇒10と同様。

平成25年第1回定例会(第2日目)2013.02.20

発言順：3 佐々木両道（復興仙台）

質問	①事前・ 現場調査 (0～4点)	②他都市 との比較 (0～2点)	③改善案 (0～3点)	合計
1：ハード、ソフトの復興を8、9割まで達成できるかどうかについての市長の所見	0	0	0	0
2：次期市長選に立候補する意思があるかどうか	0	0	0	0
3：（第3回国際防災会議の誘致も含め）国際会議誘致の推進について	0	0	0	0
4：地方分権と地方公務員の給与の削減（地方分権を進めるのであれば地方公務員の給与も地方で決められる仕組みが必要）	0	0	0	0
5：全国小中学校の学力調査と情報公開	0	0	1	1
6：心のノートの積極活用	0	0	1	1
7：障害者施策について ・重度障害者福祉手当等の廃止に対する認識と理由 ・泉障害者福祉センターの今後の整備方針 ・これからの障害者施策の方向性	0	0	0	0
8：認定こども園制度の拡張のための具体策	0	0	0	0
9：農業園芸センターの見直しと自由で柔軟な民間の発想の必要性	0	0	0	0
10：ジャイアントパンダの受け入れの意義とそれを機会に敷地の有効利用や動物配置の見直しを行う必要性	0	0	0	0
11：ガス事業売却の方針についての確認	0	0	0	0
12：国の補正予算が決定され次第すぐに活用する準備状況	0	0	0	0
13：国の災害関連法の改正に向けての具体的行動の必要性	0	0	0	0
	0	0	2	2

【コメント】

- 1⇒質問が抽象的すぎるのではないかと。
 3⇒1同様質問が抽象的すぎるのではないかと。
 7⇒廃止の理由は自分で説明しているのではないかと。不明であれば事前に担当者に尋ねるべきである。
 9⇒「自由で柔軟な民間の発想」とは何かを明らかにする必要がある。
 10⇒「敷地の有効利用や動物配置の見直し」とは何かを明らかにする必要がある。